

いじめや登校拒否を予防

3 美河小
年 鳴門教育大が出前授業

福知山市大江町河守の美河小学校（森川智美校長、128人）で23日、いじめや不登校など学校で起こりうる様々な問題をあらかじめ防止するための「予防教育」授業があった。鳴門教育大学予防教育科学センターの職員が講師となり、3年生を対象に授業をした。

同センターでは、普段から子どもたちに他人とのかかわり方を身に付けさせ、社会生活に欠かせない対人関係を円滑にする能力を育成することで、いじめなどを未然に防ぐ教育

プログラムを研究。センター職員が各地の小学校などで研究に基づいて出前授業をしている。

美河小の授業は府教育委員会の事業の一環として実施。センターの村上祐介さん（28）が指導し、5班に分かれた児童たちに、これまでの生活の中で楽しかったことについて尋ねた。

3年生たちは「1人である時に、友だちが遊びに誘ってくれた」「友だちが話しかけてくれた」などの体験談を班ごとに発表。村上

さんは更に、楽しかった理由や、他の班の発表を聞いて共感したかどうかを問いかけた。児童らは村上さんの質問に対して、積極的

に手を挙げて答え、他の班の発表では、静かに聴き、終わった後は大きな拍手を送っていた。

村上さんは最後に、

児童たちに「いろいろな時も、楽しいことを思い出して、いつもハッピーな気持ちになっ
てほしい」と呼びかけた。



村上さんの問いかけに対して、楽しかった出来事を紙に書く児童たち